

皆様、こんにちは。ゴルフコーチの吉本巧です。

ますます気温が上がってきました。これからの季節、ゴルフ場でプレーする機会が増えていくと思います。これからの夏のゴルフもぜひ楽しんでください！

本日は皆様の使用しているアイアンのライ角がご自身に合っているかどうかをチェックする方法をご紹介します。

ライ角というのは、アイアンのクラブの底を地面にペタンと付けた状態で（クラブの先を浮かせて状態ではなく）シャフトと地面によって作られる角度のことです。



このライ角は、アイアンの番手によって変わります。

ご自身のアイアンのメーカーのホームページに行くと、ライ角の一覧を確認することができます。

例えば、キャロウェイのレガシーアイアンの場合、こちらの「スペック」のページでそれぞれの番手のライ角を確認することができます。

http://www.callawaygolf.jp/product/club/mens/legacy_ir/spec

このキャロウェイのレガシーアイアンの7番アイアンの場合、ライ角は62度になります。

ライ角は1番手変わると共に、約0.5度ずつ変わるように作られています。

例えば、7番アイアンでライ角が62度。6番アイアンで61.5度。8番アイアンでは62.5度といった感じです。

このライ角の基準の設定はそれぞれのメーカーやモデルによって微妙に異なります。

例えば、ミズノのMP 68であればスペックはこのようになります。

<http://www.mizuno.jp/catalog/product/43SS85607/1290090020/>

7番アイアンのライ角は61.5度になります。

また、同じキャロウェイのアイアンでも、DIABLO EDGE アイアンのスペックはこのようになります。

http://www.callawaygolf.jp/product/club/mens/diablo_edge_ir_red/spec

7番アイアンのライ角は62.5度になります。

同じキャロウェイでも、

- レガシーの7番アイアンのライ角は62度
- DIABLO EDGE アイアンの7番アイアンのライ角は62.5度となり、0.5度違います。

また、日本で販売されている『日本仕様』のアイアンのモデルのライ角は、日本人の成人男性の平均身長約171センチ用に作られています。

アメリカで販売されている『アメリカ仕様』のアイアンは、アメリカ人の成人男性の平均身長約178センチに合わせて作られています。

そのため、日本使用のアイアンに比べて、

- ライ角が約2度アップライトになっている(ライ角が2度大きくなっている)
- クラブの長さが約半インチ~1インチ長い

という設定になっています。

これは日本とアメリカで平均身長が違うためです。

『日本仕様』のモデルは、日本人の成人男性の平均身長（約 171 センチ）に合わせて作られており、『アメリカ仕様』のモデルはアメリカ人の成人男性の平均身長（約 178 センチ）に合わせて作られています。

ですので、スイング面の要素を一切なしとした場合、一般的には、

●身長が 171 センチよりもだいぶ低い人の場合

⇒アメリカ仕様のアイアンは合わない可能性が高い。

⇒日本仕様のもので、長さと言角を細かく調整ができればよりベター。

●身長が 171 センチ前後の人の場合

⇒アメリカ仕様よりも日本仕様の方が合う可能性が高い。

⇒日本仕様のもので、長さと言角を細かく調整ができればよりベター。

●身長が 171 センチよりもだいぶ高い人の場合、

⇒日本使用よりもアメリカ使用の方が合う可能性が高い。

⇒アメリカ仕様のもので、長さと言角を細かく調整ができればよりベター。

となります。

最近では、アメリカ直輸入品を扱うゴルフショップなどが増え、アメリカのクラブを直接輸入したモデルを販売しているお店もあります。購入時には、『日本仕様』か『アメリカ仕様か』をぜひ確認してみてください。

これらはあくまで要素が平均身長のみということですので、その他、

●腕の長さ

●足の長さ

●どのようなスイングをしているか

などの要素によって自身にとっての理想的な言角とうのは変わります。

ここで、現在のクラブの言角がご自身にとって合っているかどうかを見つける方法をご紹介します。

本来は、ハイスピードカメラを設置したフィッティングスタジオで、実際のクラブヘッドのインパクト時のクラブの入射角度をスーパースローでチェックできるというのが理想です。ですがなかなか時間がなかったり、そのような機会がなかったり、フィッティング料金でコストが掛かってしまったりしてしまいます。

今回は、精密チェックではなく簡易ではありますが、現在皆さんが使用しているアイアンのライ角が合っているかのチェックする方法をご紹介します。

まずはガムテープをご用意ください。紙製のガムテープではなく、布製のガムテープをご用意ください。

一般に市販されている布製のガムテープで大丈夫です。



このガムテープをこのように約1センチ~1.5センチの太さに切ってください。



1センチ～1.5センチに切ったガムテープを半分に切ってください。



このうちの1枚を7番アイアンの底（ソール）のセンターにこのように貼ってください。

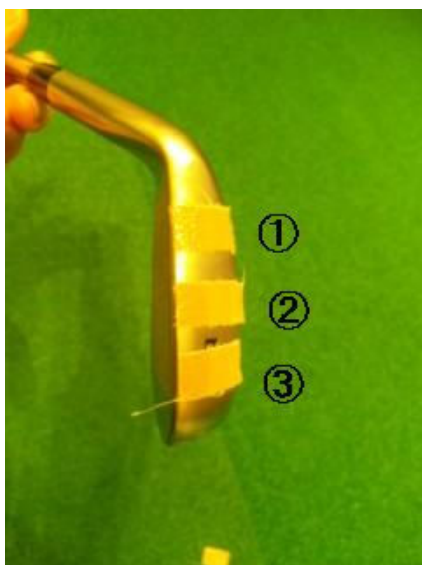


同様に同じ大きさのガムテープをもう2枚用意してください。
その2枚を、センターに貼ったガムテープの上下に（ヒール寄りに1枚、トゥ寄りに1枚）貼ってください。これで準備完了です。



これら3つのガムテープに番号を付けます。

- ①ヒール側のガムテープ
- ②センターのガムテープ
- ③トゥ側のガムテープ



この3つのガムテープが貼られた状態で、いつも練習場で練習しているような感じでボールを打ち続けてください。

打つごとに、①②③のどのガムテープが取れるかボールを1球打つごとにガムテープを確認してください。

インパクト時にはクラブの底が全て均等に「ペタン」と地面に付いている状態というのが理想です。



クラブの底が全て均等に地面に付いている状態でインパクトを迎えて、真っ直ぐ、より飛距離が出るようにクラブは作られています。

どのガムテープが取れたかによってどのような入射角度でインパクトを迎えているかを確認することができます。

●①②③の全てのガムテープが同時に取れた場合：

インパクト時にクラブの底が全て均等に地面に当たっている状態です。入射角度に大きな問題はありません。現在のアイアンのライ角はご自身に合っていないということはありません。

●①②③の全てのガムテープが全く取れなかった場合：

50球ボールを打ってもどのガムテープが取れない場合は、インパクト時にクラブの底が地面に触れていないことが多い可能性があります。正しくダウンブローでインパクトを迎えておらず、ナイスショットが出ることもあっても、当たりが薄い球やトップ球が出やすい状態です。

※ボールを打つマットが柔らかい場合、どのガムテープも取れないことがあります。

※女性などヘッドスピードがあまりない方はどのガムテープも取れないことがあります。

50 球ボールを打ってもどのガムテープも取れない場合は、粘着力の強いガムテープではなく、セロハンテープで試してみてください。取れやすくなります。

●③（トゥ側のガムテープ）のみが取れた場合：

クラブのライ角はご自身のスイングや体型に合っていない可能性が大きくなります。インパクト時にはクラブの先のトゥ側のみが地面に触れている状態で、クラブのセンターもしくはクラブのヒール側が地面に触れていない可能性があります。クラブの芯でボールを捕らえることができず、距離も出にくくなります。一般的に強くスライスしやすい状態です。

●②（センターのガムテープ）と③（トゥ側のガムテープ）の両方が取れた場合：

クラブのライ角はご自身のスイングや体格に合っていない可能性が少しあります。インパクト時にはクラブの先のトゥ側が多く地面に触れている状態で、クラブのヒール側が地面に触れていない可能性があります。クラブの芯でボールを捕らえきることができず、距離も出にくくなります。一般的に弱くスライスしやすい状態です。

●①（ヒール側のガムテープ）のみが取れた場合：

クラブのライ角はご自身のスイングや体型に合っていない可能性が大きくなります。インパクト時にはクラブの根本のヒール側のみが地面に触れている状態で、クラブのセンターもしくはクラブのトゥ側が地面に触れていない可能性があります。クラブの芯でボールを捕らえることができず、距離も出にくくなります。一般的に強くフックしやすい状態です。

●①（ヒール側のガムテープ）と②（センターのガムテープ）の両方が取れた場合：

クラブのライ角はご自身のスイングや体格に合っていない可能性が少しあります。インパクト時にはクラブの根本のヒール側が多く地面に触れている状態で、クラブのトゥ側が地面に触れていない可能性があります。クラブの芯でボール

を捕らえきることができず、距離も出にくくなります。一般的に弱くフックしやすい状態です。

※このドリルでは、ご自身のクラブのライ角が、ご自身に合っているかどうか、細かい部分まで完璧に確認することはできない簡易な確認方法です。精密な部分までの確認をご希望される場合は、クラブフィッティングやメーカーが実施しているフィッティングを試してみてください。

ご自身にとって、理想的なライ角を知ることができれば、新しくアイアンを購入する時に、欲しいクラブのメーカーのホームページでその欲しいクラブのライ角を確認し、その欲しいクラブが自分の理想的なライ角に合っていないければ、カスタムオーダーで注文しライ角調整を行うこともできます。

また現在お持ちのクラブでもライ角が合っていない場合は、軟鉄のヘッドのアイアンであればクラフトショップなどでライ角を調整することができます。

ボールが曲がるのはスイングが原因ではなくライ角が合っていなかったからかもしれません。

次回練習場へ行かれる機会があればぜひ試してみてください。

99 ゴルフスクール代表
吉本巧
www.99golf.jp